



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 日本ハウズイング株式会社

上場取引所 東

コード番号 4781 URL <https://www.housing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小佐野 台

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画部長 (氏名) 奥田 実

TEL 03-5379-4141

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	79,544	7.7	3,677	20.4	3,752	18.4	2,403	8.9
2020年3月期第3四半期	86,161	8.6	4,617	37.4	4,600	37.9	2,639	28.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,439百万円 (6.0%) 2020年3月期第3四半期 2,594百万円 (28.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	149.47	
2020年3月期第3四半期	164.14	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	56,144	34,069	59.6	2,080.37
2020年3月期	55,614	32,844	58.0	2,006.49

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 33,448百万円 2020年3月期 32,260百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		36.00		36.00	72.00
2021年3月期		38.00			
2021年3月期(予想)				38.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,400	4.4	5,650	14.9	5,630	15.2	3,600	11.7	223.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	16,080,000 株	2020年3月期	16,080,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	1,838 株	2020年3月期	1,823 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	16,078,169 株	2020年3月期3Q	16,078,221 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	当第3四半期	前年同四半期	前期比
売上高	79,544	86,161	△7.7%
営業利益	3,677	4,617	△20.4%
経常利益	3,752	4,600	△18.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,403	2,639	△8.9%

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による景気対策等により一部持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染対策を講じつつの社会・経済活動の影響で、雇用環境の悪化や企業収益の落ち込みが続く等、景気は依然として厳しい状況で推移しました。海外経済につきましても、中国においては景気持ち直しの動きがみられますが、全体としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、景気については厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましても、新型コロナウイルス感染症の影響で、大規模修繕工事を中心に着工の遅れや延期等の影響が発生したこと、前年度9月に当社持分の全てを譲渡した中国における子会社が連結から外れたことの影響などにより、前年同期比で減収・減益となりました。

その結果、売上高は79,544百万円（前年同期比7.7%減）、営業利益は3,677百万円（前年同期比20.4%減）、経常利益は3,752百万円（前年同期比18.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,403百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	当第3四半期	前年同四半期	前期比	当第3四半期	前年同四半期	前期比
マンション管理事業	39,211	38,394	2.1%	3,275	3,082	6.3%
ビル管理事業	6,592	8,117	△18.8%	447	492	△9.0%
不動産管理事業	4,472	4,182	6.9%	438	396	10.7%
営繕工事業	29,268	35,467	△17.5%	1,643	2,725	△39.7%
消去又は全社	—	—	—	△2,129	△2,079	—
合計	79,544	86,161	△7.7%	3,677	4,617	△20.4%

## ① マンション管理事業

マンション管理事業につきましては、前連結会計年度に受託した物件が計画通りに稼働したことや、長期保険契約の更新に伴う代理店手数料収入の増加が、売上高・利益に寄与いたしました。

その結果、売上高は39,211百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は3,275百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

## ② ビル管理事業

ビル管理事業につきましては、当社においては新規受注が好調に推移した他、国内子会社である山京ビルマネジメントにおいても大型物件の売買仲介手数料が寄与しましたが、前年度9月に当社持分の全てを譲渡した中国における子会社が連結から外れたことが、売上高・利益に影響いたしました。

その結果、売上高は6,592百万円（前年同期比18.8%減）、営業利益は447百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

## ③ 不動産管理事業

不動産管理事業につきましては、管理ストックの増加や、国内子会社である山京ビルマネジメントとの連携による大型リフォーム工事の受注が、売上高・利益に寄与いたしました。

その結果、売上高は4,472百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益は438百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

## ④ 営繕工事業

営繕工事業につきましては、国内外のグループ会社を含め、新型コロナウイルス感染症の影響で、工事全般で着工の遅れや延期等の影響を受けたことが、売上高・利益に影響いたしました。

その結果、売上高は29,268百万円(前年同期比17.5%減)、営業利益は1,643百万円(前年同期比39.7%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	当第3四半期末	2020年3月期	増減
資 産	56,144	55,614	529
負 債	22,075	22,770	△694
純 資 産	34,069	32,844	1,224
うち自己資本	33,448	32,260	1,187
期末有利子負債	3,686	4,260	△573
自己資本比率(%)	59.6	58.0	1.6

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ529百万円増加し、56,144百万円となりました。この主な要因は、未成工事支出金の増加2,312百万円、現金及び預金の減少877百万円、受取手形及び売掛金の減少1,018百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ694百万円減少し、22,075百万円となりました。この主な要因は、未成工事受入金の増加1,686百万円、支払手形及び買掛金の減少727百万円、未払法人税等の減少909百万円、有利子負債の減少573百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,224百万円増加し、34,069百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加2,403百万円、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少1,189百万円等であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年8月12日に公表いたしました業績予想に変更ございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,180	20,303
受取手形及び売掛金	15,693	14,675
未成工事支出金	925	3,237
原材料及び貯蔵品	146	150
その他	963	920
貸倒引当金	△81	△57
流動資産合計	38,828	39,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,143	4,001
機械装置及び運搬具(純額)	80	74
工具、器具及び備品(純額)	404	460
土地	6,896	6,896
建設仮勘定	14	—
有形固定資産合計	11,539	11,432
無形固定資産		
のれん	1,095	1,052
その他	979	1,146
無形固定資産合計	2,074	2,199
投資その他の資産		
投資有価証券	171	174
関係会社株式	131	139
差入保証金	1,034	1,051
繰延税金資産	978	1,019
その他	979	1,019
貸倒引当金	△123	△122
投資その他の資産合計	3,173	3,282
固定資産合計	16,786	16,914
資産合計	55,614	56,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,657	5,929
短期借入金	2,917	2,642
1年内返済予定の長期借入金	334	189
未払法人税等	1,379	469
未払費用	2,295	2,751
賞与引当金	1,838	1,002
工事損失引当金	3	3
工事補償損失引当金	3	—
その他	4,730	6,686
流動負債合計	20,159	19,675
固定負債		
長期借入金	1,008	854
退職給付に係る負債	616	576
繰延税金負債	145	140
その他	840	829
固定負債合計	2,610	2,400
負債合計	22,770	22,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,492	2,492
資本剰余金	1,871	1,871
利益剰余金	28,204	29,417
自己株式	△1	△2
株主資本合計	32,566	33,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	15
為替換算調整勘定	△153	△202
退職給付に係る調整累計額	△168	△144
その他の包括利益累計額合計	△306	△331
非支配株主持分	584	620
純資産合計	32,844	34,069
負債純資産合計	55,614	56,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	86,161	79,544
売上原価	65,832	59,924
売上総利益	20,329	19,619
販売費及び一般管理費	15,712	15,942
営業利益	4,617	3,677
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	6	4
助成金収入	—	84
その他	85	52
営業外収益合計	105	152
営業外費用		
支払利息	82	61
その他	39	16
営業外費用合計	122	77
経常利益	4,600	3,752
特別損失		
関係会社株式売却損	312	—
特別損失合計	312	—
税金等調整前四半期純利益	4,287	3,752
法人税等	1,538	1,289
四半期純利益	2,749	2,462
非支配株主に帰属する四半期純利益	109	59
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,639	2,403



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,749	2,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△0
為替換算調整勘定	△133	△46
退職給付に係る調整額	△17	23
その他の包括利益合計	△154	△23
四半期包括利益	2,594	2,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,500	2,377
非支配株主に係る四半期包括利益	94	62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、原則として、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,394	8,117	4,182	35,467	86,161	—	86,161
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79	19	206	16	320	△320	—
計	38,473	8,136	4,388	35,483	86,482	△320	86,161
セグメント利益	3,082	492	396	2,725	6,696	△2,079	4,617

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,079百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	39,211	6,592	4,472	29,268	79,544	—	79,544
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46	28	206	67	349	△349	—
計	39,257	6,621	4,679	29,335	79,893	△349	79,544
セグメント利益	3,275	447	438	1,643	5,806	△2,129	3,677

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,129百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。